

淑女検定

☑ チャレンジテーマ

ガーデニング

アンティークレンガの小道を囲う色とりどりの花々。そんなナチュラルガーデンを自分の手で作っていったら、どんなにすてきだろう。千里の道も一歩から。まずは「一つ一つの花の特性をよく知ること」が大事だという。

SBS学苑
静岡校

今月の先生



【四季のガーデニングノート】講師

成澤 義美 なるさわ よしみ

園芸家

四季折々の草花を育てながら土作り、肥料の与え方、病気の対策などを指導。

SBS学苑静岡校
INFORMATION

第3土曜日 13:30~15:30

四季のガーデニングノート

受講料 / 6,642円
(3カ月・3回、管理運営費含む)

教材費 / 4,860円

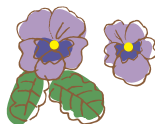
講師 / 成澤 義美

花作りの基礎をマスターするガーデニング教室。

【お問い合わせ・お申し込み】
Tel.054-282-1191

問題 1 冬から春まで長くパンジーを楽しむコツとして間違っているのはどれ？

- A. 冬の植え付け
- B. 花殻摘み
- C. 丈夫な苗選び
- D. 日当たり



正解 & 解説

問題 1 → 正解 A

春まで長くパンジーの花を楽しむためには、本格的に寒くなる前の11月までにはパンジーを植え付ける。そうすることで冬の前に根を張ることができ、徐々に寒さに慣れるので、半年間花が楽しめる。そのほかにも丈夫な苗選び、花殻摘み、追肥や水やりといった基本的な手入れも欠かせない。そして大事なのが太陽の恵み。「日光が一番の栄養ですね」と成澤先生。大事に育てれば、パンジーもそれに応えてくれる。

問題 2 → 正解 C

春になるとかわいらしい花を咲かせるチューリップ。開花期間は1~2週間と短いですが、球根の植え付けは秋に行う。球根類に限らず、秋はさまざまな苗の植え付けや剪定(せんてい)にも適したシーズン。寒さに向かっていく庭や花壇の冬支度をしながら、春になる頃はどんな風に育っているか、どれくらい花が広がっているか、ほかの花と高低差はどれくらいか、などイメージを膨らませてデザインし、植えていく。

問題 3 → 正解 B

お月見団子に添える秋の植物といえばススキ。風情のある植物だが、一旦庭に地植えすると広がりすぎてしまうので要注意。ススキだけでなく「オーナメンタルグラス」と呼ばれるイネ科やカヤツリグサ科の園芸観賞用の草類も同様。花壇に植えたい時は、一旦鉢に植え替え、鉢ごと花壇に埋めて根を抑制する方法もある。宿根アサガオなど繁殖力が旺盛な植物は、家を覆い尽くしてしまう場合もあるので注意したい。

問題 2 春の花壇の主役チューリップの球根は、いつ植えるのが正しい？

- A. 1~2月
- B. 7~8月
- C. 10~11月
- D. いつでも



問題 3 秋の代名詞ススキ。地植えに適していないのはなぜ？

- A. 水分が不足する
- B. 広がりがすぎる
- C. 穂が乱れる
- D. 月光が不足する

